市内で行われている 防災イベント

防災の意識を高めるために市内各地で防災に関する講座や事業が行われています。今回はその一部をご紹介いたします。

皆さんのお住いの地区でも催しが行われていますので、その際は、参加してみてはいかがでしょうか。

塩尻東公民館 防災教室



6月13日（土）に、日赤奉仕団塩尻分団共催で防災教室を開催しました。

前半は市危機管理課から防災専門官の前田昌儀さんをお招きし、塩尻東地区の特性を知り、どうやって避難するか、家庭内でどうやって備えていくかを学びました。

後半は実習として、災害時の炊き出しに用いられる「ハイゼックス炊飯袋」（※1）を活用した炊き出しの訓練を行いました。



参加者からは、「自分の住んでいる地域のリスクを知ることができた。」、「ハイゼックスを初めて使ったが温かいご飯を炊くことができて驚いた。自宅でも準備したい。」との感想がありました。

※1　ハイゼックス炊飯袋とは、高密度ポリエチレン（HDPE）袋で、引張強度、剛性が強く、耐衝撃性に優れている。

原新田地区 防災運動会



9月27日（日）に第62回を迎えた「原新田区大運動会」が盛大に開催され、約600人が参加・来場しました。以前は体力勝負の種目が中心で選手集めに苦慮しました。しかし、区民アンケートで運動会廃止の意見は1割にとどまり、「誰もが気軽に参加できる会に」との声が多く上がりました。そこで協議を重ね、2020年から競技型から防災意識を高める「防災運動会」へ刷新しました。常会対抗種目を残しつつ「防災ウルトラクイズ」や「バケツリレー」など多世代で楽しめる種目を導入したことで、未就学児から高齢者まで幅広く参加し、本来の「区民が楽しめる運動会」を実現できました。近年は役員の負担軽減も進み、年に一度の区民総参加行事として定着しています。

